

各種委員会報告

I. 学術集会

1. 学術委員会

委員長 石原 聡一郎

1. 定期学術集会について

- 1) 定期学術集会のプログラムは、会頭がプログラム委員会を設置した上で検討を行い、さらに本委員会でも継続的に扱うテーマや分野毎のバランスなどを考慮した上で、第127回の特別企画や上級演題のテーマの最終確認を行った。
- 2) プログラムの検討にあたっては、サブスペシャルティ学会とのテーマの重複を避けるため、第122回以降、サブスペシャルティ学会からテーマに関する要望やプログラム委員の推薦を事前に募集し、参考の上、検討を行っている。第127回でも同様に、サブスペシャルティ学会からプログラム委員の推薦を募り、検討を行った。
- 3) 学術集会の今後のあり方として、演題の採用率や会場の聴講者数の増加などにおいても検討している。

2. 学術集会の在り方について

外科系サブスペシャルティ学会に学術集会の在り方についてのアンケートを行い、結果を将来計画委員会に申し送った。

3. Future Surgeons Club について

医学生、及び初期研修医の「外科専攻」へのリクルートを目的とした「Future Surgeons Club (以下FSC)」を本委員会内に設置した。

後期研修を見越して3年間にわたり企画を立案・実施する予定であり、第125回定期学術集会では「医学生への旅費と宿泊費の支弁」を行った。

4. オンライン抄録について

第115回定期学術集会より本会雑誌としての「抄録集」が廃止になり、現状では回ごとにオンライン抄録をホームページで公開している。本会のホームページに過去の抄録を一度に検索できるようオンライン抄録専用のページを作成中である。

5. オーサーシップの在り方について

本学会主導による研究論文のCorresponding Author (責任著者) や所属の記載について、以下のとおりにルール化し、学術委員会で確認を行うこととした。

- ①Corresponding Author (責任著者) は当該の委員長またはWG座長、例外的には理事長 (非常に総論的な論文の場合など)
- ②Last Author (最終著者) は理事長

③「日本外科学会」の名称は、タイトル、著者、著者所属、謝辞のいずれかに含む（論文の内容によってどれでも可）

6. 各種賞の推薦について

平成24年度から文化財団や科学財団などから各種賞の候補推薦が依頼された場合には、本委員会にて募集し、選定を行っている。